

近隣住民との共存に注力 多方面の取り組みを実施

日伸鉄工建設(東京)



H形鋼の重さ当てクイズ

鉄骨加工の工程上、大きな騒音が発生するファブにおいて近隣住民との共存は各社の大きなテーマだが、人口密集地の東京都葛飾区に工場を置く日伸鉄工建設(金本貴範社長、Mグレード)ではさまざまな取り組みを行っている。同社は東京の住宅街、葛飾区新小岩にあり、隣接地にはマンシ

ヨン、通りを挟んで公団住宅が立ち並び、付近には小学校などもある。東京のファブの多くが実際の加工工場を市町村や隣県に置く中、こうした人口密集地の23区内に工場を構える同社では「地域社会との共存は大きなテーマ」(金本社長)と

金本社長は地域社会との共存に向けたさまざまなアイデアを実行しており、昨年11月に工場を自社施工で改修、耐震ブレースを設置するとともにマ

ンション側の壁面を遮音壁にして住民トラブルの原因となりやすい騒音対策を講じた。一方、工場や企業、業



ボトルキャップ回収

種を積極的にPR。通りに面した壁面には関係しない物件を紹介しているほか、実際に触れて持てる100ミリで切断したH形鋼の重さ当てクイズを設置している。

金本社長は「男性職員が多いファブは武骨で近寄りがたい印象を持たれがちだ。近隣住民にわが社がどんな会社なのかを知つてもらうこと、福祉支援などを通じた“やさしさ”、災害時には技術や機材を生かした“安

全”の提供。これらを柱

にこの地で企業の永続を目指す」と語る。

地域貢献は荒れたゴミ

集積所の管理、ボリオワ

クチン寄付のためのボト

ルキヤップ回収、災害時

の希望者を対象とした電

気供給など多方面にわたる。金本社長は「ボトル

キャップ回収は近隣住民

が積極的に協力してくれ

る。わが社の取り組みを

しっかりと見てくれてい

るようだ」と手応えを感じている。今後は役所と

協力し、子ども食堂支援

などをを行う予定だ。

金本社長は地域社会との共存に向けたさまざまなアイデアを実行しており、昨年11月に工場を自社施工で改修、耐震ブレースを設置するとともにマ

ンション側の壁面を遮音壁にして住民トラブルの原因となりやすい騒音対策を講じた。一方、工場や企業、業

種を積極的にPR。通りに面した壁面には関係しない物件を紹介しているほか、実際に触れて持てる100ミリで切断したH形

鋼の重さ当てクイズを設置している。

金本社長は「男性職員が多いファブは武骨で近寄りがたい印象を持たれがちだ。近隣住民にわが

社がどんな会社なのかを知つてもらうこと、福祉

支援などを通じた“やさ

しさ”、災害時には技術

や機材を生かした“安

全”の提供。これらを柱

にこの地で企業の永続を目指す」と語る。

地域貢献は荒れたゴミ

集積所の管理、ボリオワ

クチン寄付のためのボト

ルキヤップ回収、災害時

の希望者を対象とした電

気供給など多方面にわたる。金本社長は「ボトル

キャップ回収は近隣住民

が積極的に協力してくれ

る。わが社の取り組みを

しっかりと見てくれてい

るようだ」と手応えを感じている。今後は役所と

協力し、子ども食堂支援

などをを行う予定だ。